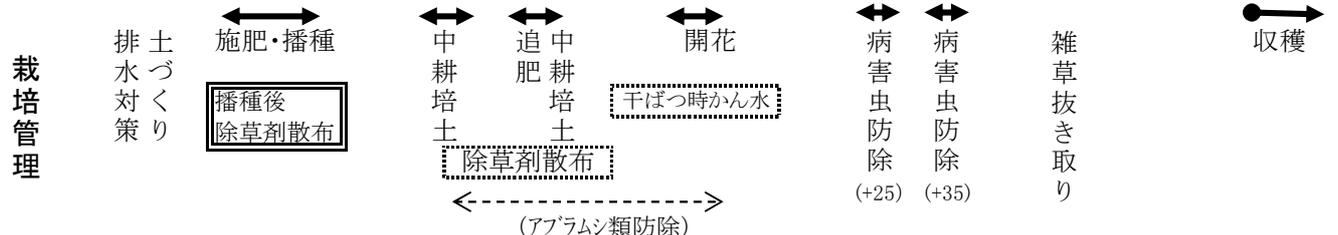
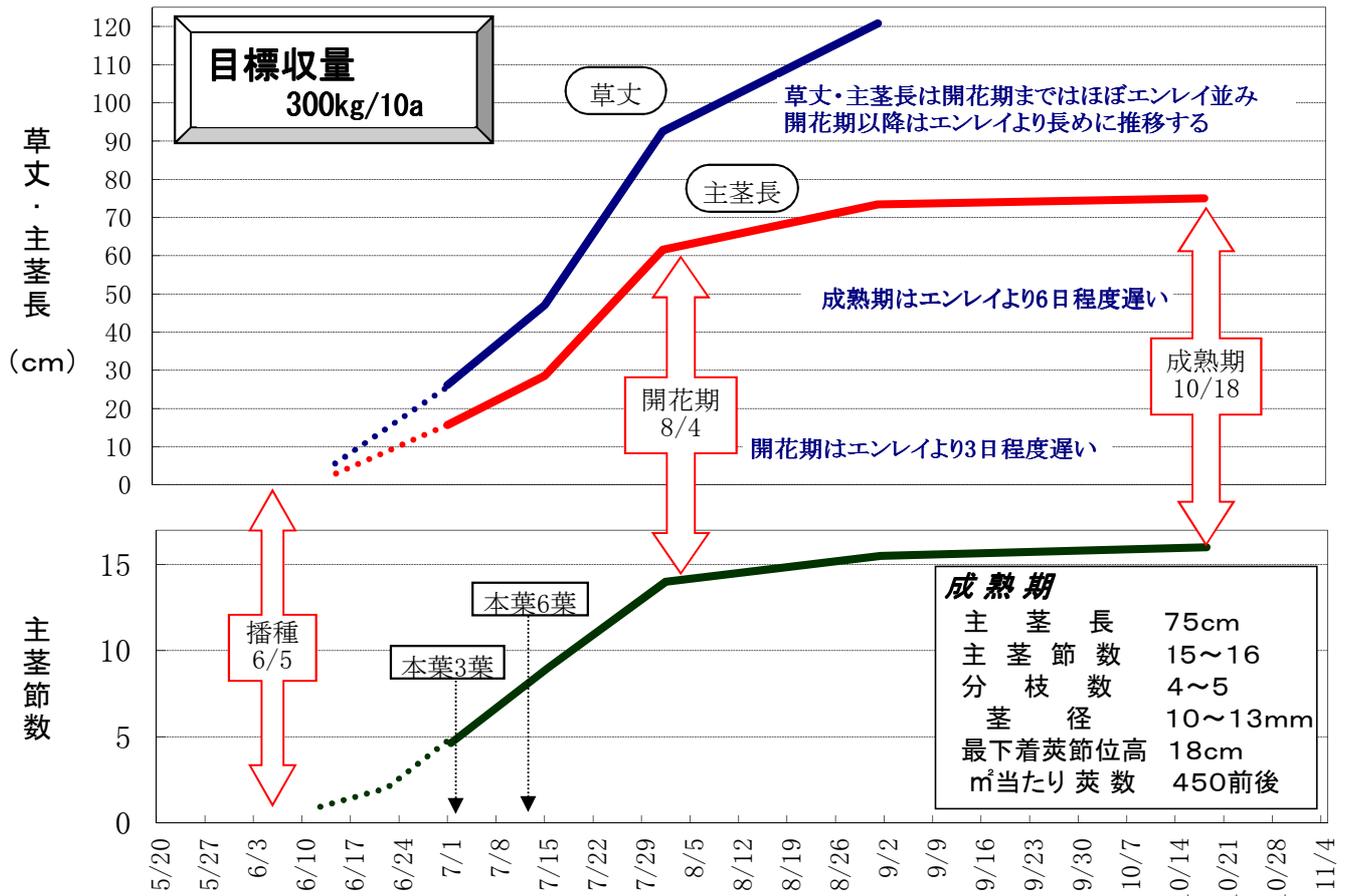


大粒品種「里のほほえみ」の栽培ごよみ（内陸版）



◎ 栽培のポイント

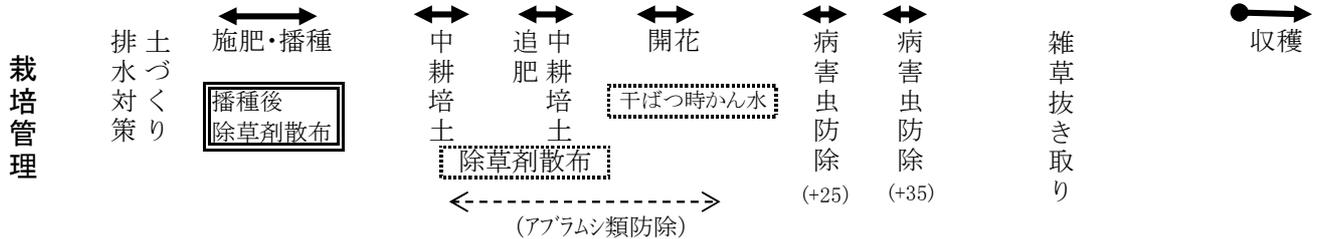
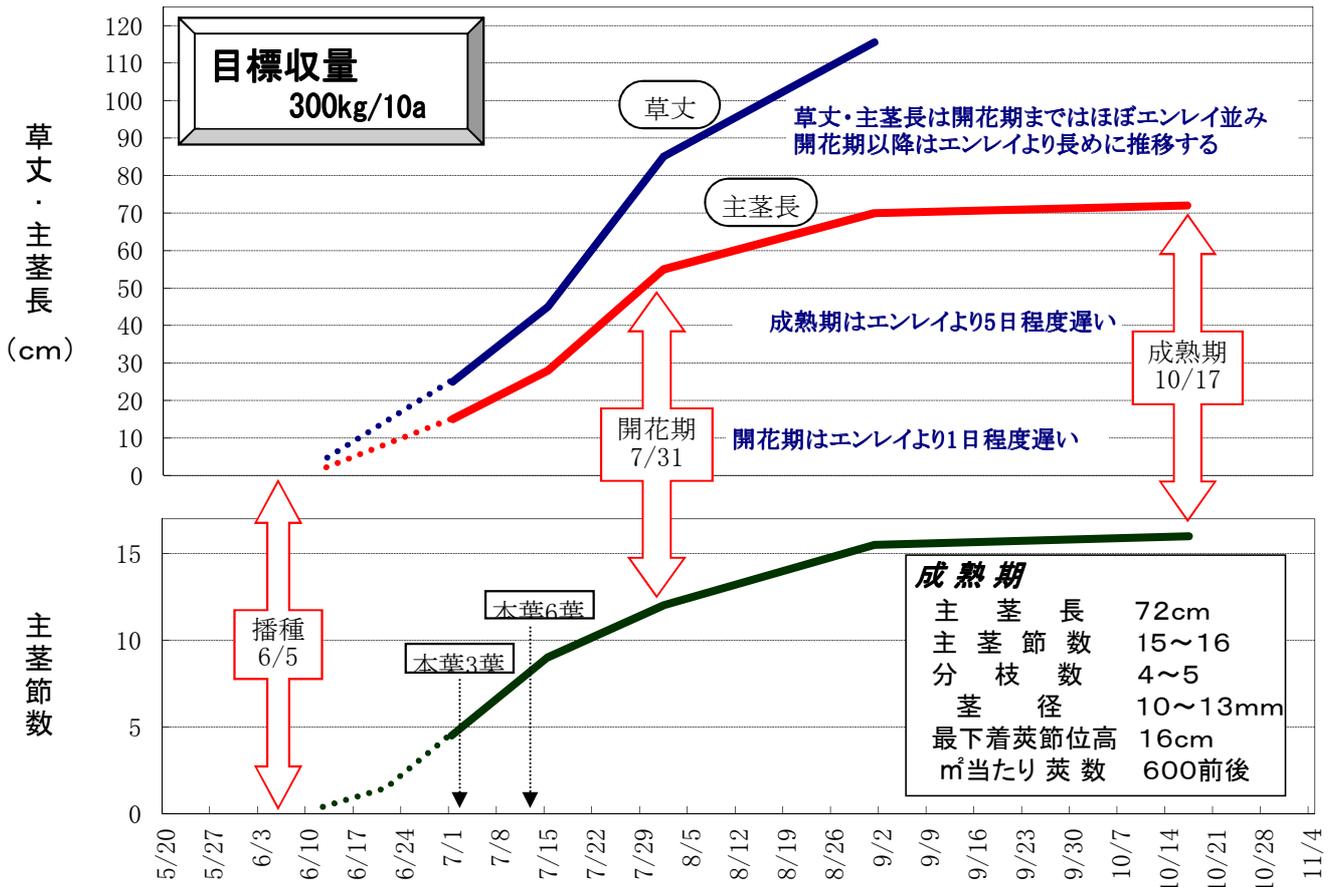
- 排水対策 団地化、本暗きよ・補助暗きよ・明きよの施工
- 土づくり ようりん:60kg/10a、苦土石灰:100kg/10a、堆きゆう肥:2.0t/10a
- 施肥 基肥:窒素2~3kg/10a、リン酸6~8kg/10a、カリ10~12kg/10a
追肥:6~7葉期 窒素6~8kg/10a(被覆尿素)
- 種子消毒 粉衣処理(根粒菌、ハト害予防:忌避剤、紫斑病防除:殺菌剤、ネキリムシ類等防除:殺虫剤)
- 播種期・栽植密度 6月上旬播種:11,000~13,000本/10a
- 雑草防除 播種直後:土壌処理剤散布(茎葉処理剤散布※) → 手取り除草
※中耕培土を行っても残草量が多くなる場合は、茎葉処理剤を散布する。
- 中耕培土 1回目:3葉期(子葉節まで)
2回目:6~7葉期(初生葉節~第1葉) 開花1週間前までに終了
- 病害虫防除 タネバエ:種子消毒、播種時薬剤散布
ウイルス病:発病株抜き取り、アブラムシ類の防除
紫斑病:種子消毒、開花後25日、35日頃の薬剤散布
マメシクイガ:開花後25日、35日頃の薬剤散布
ジャガイモヒゲナガアブラムシ:多発の場合は、薬剤散布
- コンバイン収穫適期 子実・莢水分20%以下、茎水分60%以下(おおよそ成熟期後7日以降)
- 干ばつ対策 開花期から登熟初期にかけて乾燥が続く場合は、畦間かんがいを実施する。

排水対策と土づくりの徹底で収量の向上を!

大粒品種なので播種粒数が不足しないように種子を準備する

耐性菌出現防止のため、同一系統薬剤の連用を避ける

大粒品種「里のほほえみ」の栽培ごよみ (庄内版)



◎ 栽培のポイント

- 排水対策 団地化、本暗きょ・補助暗きょ・明きょの施工
- 土づくり ようりん:60kg/10a、苦土石灰:100kg/10a、堆きゆう肥:2.0t/10a
- 施肥 基肥:窒素2~3kg/10a、リン酸6~8kg/10a、カリ10~12kg/10a
追肥:6~7葉期 窒素6~8kg/10a(被覆尿素)
- 種子消毒 粉衣処理(根粒菌、ハト害予防:忌避剤、紫斑病防除:殺菌剤、ネキリムシ類等防除:殺虫剤)
- 播種期・栽植密度 5月下旬~6月上旬播種:11,000~13,000本/10a → **大粒品種なので播種粒数が不足しないように種子を準備する**
- 雑草防除 播種直後:土壌処理剤散布・(茎葉処理剤散布 ※) → 手取り除草
※中耕培土を行っても残草量が多くなる場合は、茎葉処理剤を散布する。
- 中耕培土 1回目:3葉期(子葉節まで)
2回目:6~7葉期(初生葉節~第1葉) 開花1週間前までに終了
- 病虫害防除 タネバエ:種子消毒、播種時薬剤散布
ウイルス病:発病株抜き取り、アブラムシ類の防除
紫斑病:種子消毒、開花後25日、35日頃の薬剤散布 → **耐性菌出現防止のため、同一系統薬剤の連用を避ける**
マメシクイガ:開花後25日、35日頃の薬剤散布
ジャガイモヒゲナガアブラムシ:多発の場合は、薬剤散布
- コンバイン収穫適期 子実・莢水分20%以下、茎水分60%以下(おおよそ成熟期後7日以降)
- 干ばつ対策 開花期から登熟初期にかけて乾燥が続く場合は、畦間かんがいを実施する。